



日本の“宝島”
あまくさ

ほんど

まちづくり協議会だより

四月からこれまでの各地の公民館が廃止され、地区コミュニティセンターとしてそれぞれの振興会に管理委託されます。自分たちの地域は自分たちでつくる、本来めざすべきまちづくりは地域が主体的に取り組む、そ

北まちづくり協議会と宗像市赤間地区コミュニティ運営協議会、まちづくりを学んできました。自分たちの手によるまちづくりを目指して行政組織の在り方やかかわり、交付金の仕組み、住民の意識の高さ、女性の

「変革」のとき… わたしたちができる地域づくりを目指して
巴の年も、桜の花の季節になりました。年を重ねることに月日のたつのが早く感じられます。天草市も合併から七年が過ぎました。もう七年！ また七年！ 合併してよかったです！ そうでなかった！ 皆様には、それぞれ思いがおりになることと思います。天草市でも、新年度より合併後初めての大幅の機構改革が行われます。私的には、まだまだ中途半端と思われま

のためには地域の皆さんの熱意とリーダーの存在が必要です。そのリーダーは、一人の力よりも、複数のリーダー群として地域を支え、引っ張っていく人たちの存在が重要です。カリスマ型リーダーを想定した「地域リーダー養成」という発想は、地域の実情と大きくずれている可能性もありま



本渡まちづくり協議会
会長 中川 竹治

リーダー機能があれば、その適任を地域の中から探す、リーダーは普通の住民の中にいます。リーダーは養成するものではありません。今年一月に、北九州市枝光

Vol.10
発行:2013年4月1日

- 会長あいさつ……………P1
- まちづくり研修……………P2~3
- 「まちづくり研修事業」に参加して……………P4
- まちづくり講演会……………P5
- ほんどの振興会は「元気」バイ！……………P6~7
- 宮地岳かかし村……………P8

今年度もどうぞよろしく、ご指導をお願い申し上げます。

ほんどのいま

平成25年3月1日現在
(H24.7.1との比較)

【本渡南】	男 ……4,224人(+ 6)
女 ……4,868人(- 11)	
計 ……9,092人(- 5)	
世帯数…3,867 (+ 2)	
高齢化率…27.5%	
【本渡北】	男 ……5,202人(+ 62)
女 ……5,770人(+ 54)	
計 ……10,972人(+116)	
世帯数…4,575 (+ 19)	
高齢化率…21.1%	
【亀場】	男 ……2,021人(+ 8)
女 ……2,358人(+ 22)	
計 ……4,379人(+ 30)	
世帯数…1,742 (- 2)	
高齢化率…20.7%	
【杵宇土】	男 ……373人(+ 1)
女 ……369人(± 0)	
計 ……742人(+ 1)	
世帯数…277 (- 1)	
高齢化率…36.7%	
【志柿】	男 ……1,456人(+ 2)
女 ……1,680人(± 0)	
計 ……3,136人(+ 2)	
世帯数…1,260 (+ 5)	
高齢化率…26.0%	
【下浦】	男 ……910人(- 1)
女 ……1,023人(+ 1)	
計 ……1,933人(± 0)	
世帯数…772 (- 4)	
高齢化率…37.0%	
【楠浦】	男 ……1,235人(- 5)
女 ……1,367人(- 15)	
計 ……2,602人(- 20)	
世帯数…1,009 (+ 5)	
高齢化率…30.9%	
【本町】	男 ……909人(+ 2)
女 ……1,013人(+ 5)	
計 ……1,922人(+ 7)	
世帯数…868 (+ 7)	
高齢化率…32.6%	
【佐伊津】	男 ……1,640人(+ 3)
女 ……1,876人(- 1)	
計 ……3,516人(+ 2)	
世帯数…1,457 (+ 8)	
高齢化率…32.1%	
【宮地岳】	男 ……290人(- 1)
女 ……303人(- 5)	
計 ……593人(- 6)	
世帯数…261 (- 1)	
高齢化率…43.5%	
【合計】	男 ……18,260人(+ 77)
女 ……20,627人(+ 50)	
計 ……38,887人(+127)	
世帯数…16,088 (+ 38)	
高齢化率…26.7%	

編集・発行
本渡まちづくり協議会

【事務局】
天草市 地域振興部
まちづくり支援課

〒863-8631
熊本県天草市東浜町8-1
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-24-3501

宮地岳かかし村

例年開催しています、かかし村を今年も開催します。
今年のテーマも昨年に続き「まつり」です。趣向を凝らした100体を越えるかかしを展示予定ですので、近くを通られた際は、是非お立ち寄りください。

■日時
4月1日～5月10日

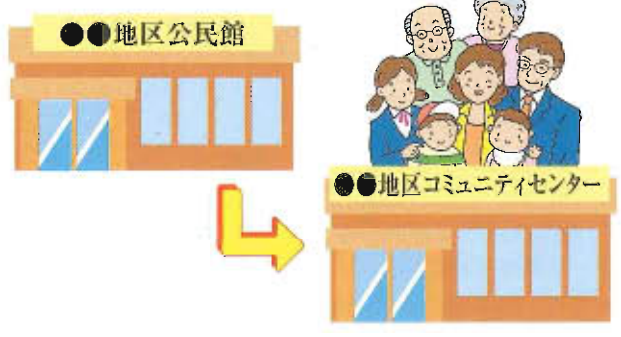
■会場
宮地岳町豆木場
(例年どおり)



地域づくりの活動の拠点に!!

公民館が “コミュニティセンター” に変わります

4月1日から、市の公民館再編に伴い「〇〇地区公民館」が廃止となり、「〇〇地区コミュニティセンター」という名称になります。また、コミュニティセンターの管理運営は、「指定管理制度」が導入され、市から皆さんがお住まいの地区振興会に委託されます。各地区振興会では、職員を雇用し、「コミュニティセンター」の管理運営や振興会の業務の補助を行なっていただき、市から派遣されるコミュニティ主事と協力して地域づくり活動を行うこととなります。



「やっぴやん」ではなく、「やっぴやん」と思える言葉をかけてあげられるよう、自分が成長しなければなあと感じたひと時でした。皆さんも、「させられてる」と思ってるより、「やっぴやん」と思ってる方が楽しいですよ！

楽しむこと。
先日熊本市内
に向かう途中、
熊本城マラソン
の歓迎看板を地域の人がみんな
で立てていました。「ようこそ
いらっしやいました」の気持ち
が伝わってくるような手づくり
の看板で、看板には〇〇地域づ
くり協議会と書いてあり、誰か
にお願いされてという感じでは
なく、地域のみんな総出で楽し
そうに作業をしている風景でし
た。よく子どもに「あれしなさい
ーこれしなさいー」と言っても
動いてくれないと、感じていた
謎が解けたようでした。

事業報告

市内交流

市内の他地区振興会と交流することにより、地域づくりのちょっとしたヒントにしていただければということ、事業を行いました。

① 楠浦地区振興会(有明)との交流

■日 程：10月3日
■参加者：27人参加

楠浦地区振興会では、地域の拠点づくりに取り組んでおられました。地区の中心地にあった保育園の跡地を整備し、子どもから高齢者まで気軽に集える場として活用。施設の名称も地域住民に募集して、「くすぽふれあい館」となっていました。



説明いただいた楠浦の皆さん

地域で何度も話し合いを行い、「うまく運営していけるだろうか」、「維持管理が大変では…」など意見も出たようですが、地区のシンボルがない状況では、元気も出ないやれるだけやってみよう。と始められたそうです。市のチャレンジ支援事業を活用できたことで、やってみようという心がつきました。今は、みんなでの「くすぽふれあい」

ひとつの目標を、関係する皆さんが共有し、同じ方向に向かって進んでいるように感じました。

② 牛深地区振興会との交流

■日 程：11月10日
■参加者：20人参加

ハイヤで地域興しを目指す牛深地区振興会では、ハイヤを活用した地域づくり活動に力を入れておられました。

この全国的に有名なハイヤ節の源流である牛深ハイヤを多くの方に知ってもらうための取り組みや、昔から地区に受け継がれてきたイベントを生かし、地区住民以外の方が参加されても楽しめるような内容にしたり、そこで振舞われる郷土料理の開発をするなど、確実な取り組みを進めておられました。さらには、旅行業者を入れてツアーに盛り込む計画もあり今後ますます発展される事業でした。



開発された郷土料理の試食会のようす

また、牛深ハイヤをPRする一つの手段として、ハイヤ

太鼓を創設。地区住民20名ほどのメンバーで活動をされており、今では、牛深以外での依頼にも応えられているとの事で、これも、財団の宝くじ助成金や市のチャレンジ支援事業交付金を活用できたので、太鼓などそろえることができましたと話されていました。

③ 手野まちづくり振興会との交流

■日 程：12月4日
■参加者：24人参加

芹生の郷で知られる「手野まちづくり振興会」では、地域内の各種組織を、公民館部門、地域づくり団体部門、自治行政・各種団体部門の3つの部門に分類し、各事業において、関連ある部門(部会)が横の連携・協力がとれる体制づくりを行って、地域住民で作成した将来ビジョン(振興計画書)に向かって取り組んでおられました。

4月には手野小新1年生9名の健やかな成長を願うとともに、男の子は真鯉、女の子はひ鯉をかけた、男女共同参画社会の実現への期待も込め、メッセーシ鯉のぼりを毎年泳



研修会のようす(手野)

がせているそうです。

特に力を入れているのが、景観づくりとコミュニティビシネスの2枚看板でスタートした「芹生の郷の柿づくり」。柿の会による柿街道づくりは、県道沿線に植栽した50本の犬殺し柿の生育・管理を会員の手で行って、順調に育っているそう、柿街道に植栽した数本の木に、初めて柿が実り、新たな手野の風物詩として景観形成がなされていました。芹生柿によるコミュニティビシネス事業は、天草市のチャレンジ支援事業を活用。熊本最上級特産品を目指して、「芹生柿の増産・育成管理」、「剪定技術等の研修」、「芹生柿」の商標登録、「製食品箱、包装紙の製作」、「柿吊るし器具の製作」などに取り組まれています。

まちづくり研修

本波まちづくり協議会では、平成24年度においても「ひとつくり」を中心とした事業

を行うため、「まちづくり研修事業」を実施しています。

これらの事業は、「地域づくり」に触れていただく機会を設けることでより身近に感じていただくものです。

市外研修

▼ 鉄肥町 (宮崎県日南市)

今年度の研修では、「景観」を大切にしつつ、そこで生まれた地域づくり活動を研修してきました。

鉄肥城下町保存会の基本的な考え方として、①まちの活性化(地域が元気になるようなことを)、②継続性(1回きりのイベントではなく年中できるようなイベントを)、③自立性(行政などの補助金に頼らず運営できるようなことを)、④地域資源の掘り起



鉄肥のまち歩きの様子

こし+おもてなし(新しくつくるのではなく、今あるものを最大限活用して)、⑤空家の活用。を重視しながら出来たのが、「鉄肥城下町の食べ歩き」でした。設立当初16店舗でスタートし、半年後には39店舗が加入。ただ、店舗を増やすだけではなく、それなりの受け入れ態勢として「おもてなし」を大切にしようとして研修会などを実施し、受け入れ態勢の整備が行われたそうです。自分たちは、行政主導ではなかったため助成はいっさいなかったが、自分たちの地域を考えた時、危機感でいっぱいだった。それが自立ではないかと思っていますとのことでした。

▼ いっちゃん宮崎・楠並木朝市 市視察

本実行委員会は、補助金は一切なしで、スタッフは皆さ



んボランティアで実施。

朝市の説明を受けました(宮崎県庁前)

きつかけは、東国原前知事が視察先で朝市の魅力を感じ、それから、2カ月半後には、第1回の朝市が宮崎県庁前で開催されたとの事でした。視察した2月3日の朝市が第124回目、実績として平均出店店舗数(56店舗)、来場者総数(89,200人)、1回あたり来場者数(4,694人)、また、学校との連携として、地元の高校生の出店や職場実習(販売実習)なども実施されていました。

▼ 綾町 花のまちづくり 国際まちづくりコンクールで最高の賞である「5つ星」を受賞された内容など研修しました。昭和43年に「花いっぱい」の町にしよう」という提案があり、桜やつじの植栽、園芸教室、自治公民館での花いっぱい運動など取り組み、行政と住民が同じ方向に向かって取り組まれました。町も花育苗センターを設け、地区、小中学校、また町内の企業に苗を配布するなどして、花のまちづくりを推進。自治公民館の中には、20人程度で、役員は80歳以上という地区もあるなかで、地道な活動に取り組みされているのが印象的でした。その他、町内の年間出生者数が50人から70人まで増加しているそう、空家を活用(町で改築し貸し出し、5年間は必ず居住する。その間に改築費を取り戻せるくらいの家賃設定)し、定住対策にも力



綾町の研修



まちづくり講演会のようす

まちづくり講演会

平成25年
1月30日開催

【講師】

地域づくりグループ『夢ランド十町』
広報部隊 荒木美智代氏（前会長）
池上久美子氏

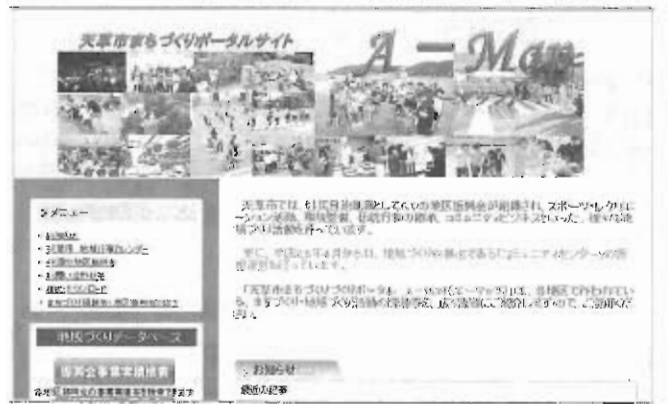
本渡地域の各振興会が集い、まちづくりの展望について共通認識を深めることや方向性を見出すことを目的に講演会を開催しました。講師は、和水町の地域づくりグループ「夢ランド十町」の広報部隊、荒木美智代さんと池上久美子さんのお二人。「できる人ができることを、できるときに活動の中心は、やっぱり女性パワー!!」と題してお話をいただきました。当日は、130名の方が参加され、お二人の掛け合いの説明に時には笑いあり、感心させられる話ありの講演会でした。

また、お二人とも畜産と農業をされて忙しい中でも、基本は家庭！家庭のことは手を抜かない。という姿勢でまちづくり活動にも参加されているため、「家族の理解があるからできること。感謝しています」とのこと。参加された方からは、「まず、自分自身が楽しむことが大事なんですね」「女性パワーのすごさを感じた」「何か難しいことを考えるのではなく、できることから始めてみたい」「自分にも何かできる。そう感じるものができた講演会だった」などの意見が多く寄せられました。

まちづくりの情報が満載!! ~天草市まちづくりポータルサイト「A-Map」が開設~

天草市では、まちづくり協議会や地区振興会単位で、さまざまな活動を実施し、天草WEBの駅等を活用しそれぞれの地区が個別に情報発信されています。今回、まちづくりに関するこれらの情報を一体的に参照できる『天草市まちづくりポータルサイト「A-Map」』が開設されました。

ここでは各地区の取り組みやイベント等を参照するなど情報発信、情報交換できるほか、他地区の活動実績や研修・講演会等の情報を参照・検索できるデータベース機能を装備。地区が新たな事業を実施する際や、専門的アドバイス等を依頼するための情報などを得ることができます。



みなさんも、ぜひ一度ご覧ください。
URL <http://hp.amakusa-web.jp/a0947/MyHp/Pub/>



綾町「花時計」の前で

本渡まちづくり協議会 「まちづくり研修事業」に参加して

本渡北地区振興会 参加者から

研修先 飫肥町について

宮崎県飫肥町（おひじょう）並びに綾町のまちづくり研修に参加して、この研修を天草でどう生かすか、生かせるかと検討してみました。

観光客はマップ片手に町並みを散策しながら、思い思いの店で好みの品と交換する。飫肥町は、観光名所だけの「素通り型」から町巡りする「滞在型」への移行を町全体で取り組んでいる。観光客を誘致し、共に発展を図ろうとする町民の意欲と努力に感心すると共に、本渡まちづくりの指針にもなりそうだと。



飫肥城まち歩きの様子

研修先 綾町について

綾町は、照葉樹林保護で有名だが、至る所に花壇が設けられてあり、花いっぱい運動を各自治体公民館単位で行われているとの報告がなされた。92年全国はなのまちづくりコンクール最優秀賞（農林水産大臣賞）受賞やコミュニティーズ・イン・ブルーム国際コンクール賞5つ星受賞など、すばらしい成果を上げている。これらの表彰は、綾町民の町民参加型の活動が高く評価された結果である。

少子高齢化による後継者減という地方自治体特有の問題を抱えながら、自然を生かしたまちづくりに取り組んでいることに感銘した。

楠並木朝市を見学して

東国原宮崎県知事人気で観光スポットとなった県庁前の楠並木通りをさらに盛り上げようと、平成19年10月にスタートした第1・第3日曜日に開か



いっちゃん宮崎の朝市の様子

は7回目の開催となりました。日本中のあらゆる地域や地区で、集落であるいは、団体で様々な活動がされています。まずは、自分にもできることを。おひとりお一人が楽しんでいけるような取り組みが

れている。「楠並木朝市実行委員会」が主体となり、参加団体やボランティアの協力を得て運営がなされている。市街地活性化や地産地消の推進につながる方針のもと、参加出店がお互いにルールを守り、協力しあいながら「共存共栄」を図っている。開催以来順調に発展しているが、来客（購入者）の大半は地元で、観光客を如何に誘致するかが今後の課題とのことであった。



レリーフと天草石匠会の皆さん

ふるさと祭り記念レリーフを設置!!

下浦地区振興会 会長 富安 英猛

昨年2月に開催した第20回下浦町ふるさと祭りを記念して、天草石匠会の皆さんが共同で製作したレリーフを国道266号線沿い(下浦町内)に設置しました。レリーフには、天草の石工の元祖とされる松室五郎佐衛門の絵などが彫られており、元本渡歴史民俗資料館の上中満さんに絵のデザインを手がけていただいております。また、同箇所には1/10サイズの祇園橋のモニュメントや、町の案内看板なども設置してあります。

下浦石工の先人たちの手によって造り上げられたものには、国指定の重要文化財である祇園橋のほか、楠浦町の眼鏡橋などの石橋、長崎県のオランダ坂の石畳をはじめ、各地の鳥居、石仏、墓碑など数多くの作品があり、今も残っています。ぜひ、下浦町まで足を運ばれ、その技術を受け継いでいる下浦の石工さん達の作品をご覧ください。

楠浦のよかところを探訪

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦照

楠浦の文化財や名所旧跡を探訪する「楠浦よかところスタンプラリー大会」を1月6日に開催。楠浦の子どもたちらに歴史や文化を再発見してもらうと同時に、町外の人たちにも楠浦のよかところを体感してもらおうと毎年実施し、今年で3回目となりました。

総勢106人(町内62人・町外44人)の皆さんが、楠浦よかところ案内の説明を聞きながら、子どもたちからは「こんなところに古墳があったの」「昔はこの付近は海だったの」など豊かな自然の中で育まれた楠浦の歴史文化に

ふれて感動していました。7.3kmを元気に回った後、郷土料理「だご汁」で体を温め、スタンプゲームをして楽しんでいただきました。



スタンプラリー大会

矢筈岳さわやか登山

本町地区振興会 会長 鶴田 正人

12月9日に矢筈岳さわやか登山を開催しました。今回で13回目を数えるこの登山は毎年多くの方に参加をいただいております。

当日はあいにくの雨模様でコースを多少変更しての実施でしたが、山登りするにつれて天候も回復し約90名の参加者は元気よく頂上目指して歩いていました。登山の途中にはぜんざい、頂上では豚汁なども振る舞われます。また、町内外から毎年参加して下さる方も多く、「今年も来たよ」等多くのうれしい声があり好評を得ています。



登山のようす

盛況だった「佐伊津町ふるさと祭り」

佐伊津地区振興会 会長 洲崎 豊裕

昨年11月18日、佐伊津町公民館において第12回佐伊津町ふるさと祭りを開催しました。会場には、佐伊津沖で捕れた「タコ」を使った「タコおこわ」などの食品バザーや農海産物販売、ゲーム、保育園児や茗荷高校ハイヤ部などのステージ発表やSL号乗車、作品展示や餅投げなどがあり来場者の評判は上々。中でも「くまモン体操」は大人気で、盛り上がりは最高潮に達していました!!

今年も町内外から多数来場していただき、スタッフ一同安堵と感謝の気持ちでいっぱいです。これからも地域が盛り上がるような内容を企画し取り組んでいきます。



保育園の子ども達のダンス

ほんどの振興会は

「元

気!



完成した「顔」と記念撮影

かかしの顔が完成!!

宮地岳地区振興会 会長 龍石 昭好

昨年7月から地域づくり部会主催で数回にわたり開催した「かかしの顔作り教室」が終了し、個性豊かな「顔」が出来上がりました。

かかし作りに興味のある町民の方へ、碓井公民館長が講師となり、手取り足取り教えていただきました。参加者からは、「自分で作ったけん愛着がわく」「出来上がった顔が自分に似ている」などの感想が聞かれ皆さん満足そうでした。

今年も、4月1日から5月10日頃までの期間で「かかし村」を開催予定です。今回は昨年に続き「祭り」をテーマに展示予定ですが、昨年以上の展示内容になる予定ですので皆様お揃いでお越しください!!

親子ナイタードッジボール大会を開催!

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅靖

本渡南地区振興会では、毎年夏休みに「親子ナイタードッジボール大会」を開催しています。これは夏休みの夕べのひとときを親と子、地域の仲間が集い、一緒になってドッジボールで汗を流すことにより、親子の触れあいや地域の交流の一助になればと開催しているもので、今年で18回目を迎えました。

昨年8月23日の大会には8チーム・169名の親子が参加し、白熱した戦いが繰り広げられ、決勝戦は古川上町チームと上川原Bチームが対戦。予選リーグを2位で勝ち上がった古川上町チームが5年ぶりの優勝に輝きました。会場内は真剣勝負の中にも、子どもたちの笑い声や笑顔の絶えない雰囲気、夏休みの楽しい思い出となりました。



ねらいを定めて、それっ!

今釜区・広瀬区が「くまもと景観賞」受賞!

本渡北地区振興会 会長 池邊 哲夫

第25回くまもと景観賞の「緑と水の景観賞」に「ツツジ咲く広瀬川河岸」が選ばれ2月13日、今釜区と広瀬区が熊本県知事から表彰を受けました。広瀬川下流の両岸約1kmに咲くツツジは昭和50年11月、日本渡市が美しいふるさとづくりの一つとして、地元の今釜区と広瀬区の住民と一しょに植えたもの。以来37年間、両区民がツツジの剪定や除草作業などの維持管理を行っています。今回の受賞は、地域住民の長年にわたる美しい景観づくりの取り組みが高く評価されたものです。吉岡輝治・今釜区長と森暉夫・広瀬区長は「今後も、住民みんなで美しい景観の維持に努め、この景観を生かした地域づくりにも取り組んでいきたい」と笑顔で話していました。広瀬川両岸のツツジは、毎年5月上旬に一斉に咲き誇ります。皆さんも、ぜひご覧ください。



「ツツジ咲く広瀬川河岸」

地域全体で安全なまちづくりを

亀場地区振興会 会長 船元 聖代

亀場地区振興会(生活環境部会主管)では、町民の防犯意識を高めること、地域全体の犯罪防止機能を高めること、地域の連帯感を醸成することを目的に防犯・交通事故防止事業に取り組んでいます。毎年、子どもたちの下校時の安全対策として小学4年生に反射材タスキを贈呈しています。また、昨年7月27日(金)には、消防団、小中学校PTAと一緒に夜間町内一斉パトロールを実施しました。

パトロールにより、地域内の危険箇所を点検し、防犯灯やカーブミラーの設置要望、啓発用看板の作製を行いました。看板の作製は、天草工業高等学校機械科の生徒さんの協力を得て、小学校PTAにより今後随時設置していく予定です。これからも、犯罪や事故等の被害を未然に防止できるよう、地域全体で安全な環境づくりに取り組んでいきます。



反射材タスキ贈呈の様子

第7回志柿町文化祭を開催しました!

志柿地区振興会 会長 浦田 義孝

11月11日、志柿町文化祭実行委員会主催「第7回志柿町文化祭」を志柿町公民館をメイン会場として盛大に開催いたしました。これは、志柿地区住民の文化・芸能・親睦・交流ふれあいの祭典として開催するもので、演芸発表・作品展示・食とリサイクルバザーの3部門があります。

当日は、あいにくの小雨模様でしたが、多くの方々にご来場いただきました。演芸発表では、保育園児のかわいいダンスをはじめ、各団体とも日頃の練習の成果を十分に発揮され、おおいに盛り上がりました。また、作品展示・食とリサイクルバザーも大盛況となり、笑顔はじける楽しい一日となりました。

柵宇土ふるさとまつり

柵宇土地区振興会 会長 赤石 良一

11月25日、「第25回柵宇土ふるさとまつり」が実行委員会主催により柵宇土町公民館で開催されました。当日は、天気にも恵まれ町内外から約450人の来客があり大変賑わいました。ステージでは、保育園の遊戯や亀川小学校の器楽演奏の他、住吉ソーラン(松島町)や柵宇土町の小学生3・4年生によるKAMEKKO(カメッコ)ソーランも披露していただきました。

また、今回は25周年記念公演として「いちごくらぶ」による「楽しい歌と踊り」やグランパワーヒノクニショーも行いました。館内では、農産物即売会や生け花の展示、木彫りの人形を使って自然の中でのコンサートを表現した楽しいコーナーもありました。



大好評の、もちなげのようす



文化祭のようす